

# かすかべのうりんナビ

効率的で安全な農業生産を!

～GAPに取り組みましょう～



発行 埼玉県春日部農林振興センター

〒344-0038 春日部市大沼1-76

電話：048-737-2134 FAX：048-734-1344

<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0908/index.html>



埼玉県農林部関係フェイスブック

「元気いっぱい!! 埼玉農林業」

<https://www.facebook.com/saitama.nourin>





# GAPに取り組みましょう！

## ■GAPとは

GAPとは、Good (よい)、Agricultural (農業の)、Practices (やり方) の略で、効率的で安全な農場管理・農業経営のことを言います。

皆さんもGAPに取り組み、現在行っている農業をよりよくカイゼンしてみませんか。

## GAPが目指すもの

- ◎**食品安全**  
→ 安心して食べられる農作物づくり
- ◎**環境保全**  
→ 環境に余計な負荷をかけないこと
- ◎**労働安全**  
→ 誰もが働きやすい農場であること

## ■GAPの取り組み方の例(カイゼンのステップ)

ステップ 視点	1 現状把握 (GAP取組前)	2 リスク評価 (問題点や原因、影響などの検討)	3 カイゼン (GAP取組の実践)
食品安全	・収穫物の段ボールに昆虫が混入していたとクレームがあった。	・出荷調製作業中に出荷物に異物が混入するリスク ・保管中の包装資材が汚染されるリスク	・作業場を整理整頓する。 ・定期的に清掃する。 ・保管中の包装資材にビニルシートをかける。
環境保全	・作物残さが飛散し、近隣住民から苦情が来た。	・廃棄物が飛散し、周辺環境を害するリスク ・衛生害虫の発生源となるリスク	・廃棄物は品目別に分類して保管する。 ・作物残さにビニルシートをかける。
労働安全	・パート作業者が刈払機で手を負傷した。	・作業中にけがをするリスク ・来訪者が農場内でけがをするリスク	・危険作業は熟練者が行う。 ・危険な場所に注意表示する。 ・パートも保険に加入する。

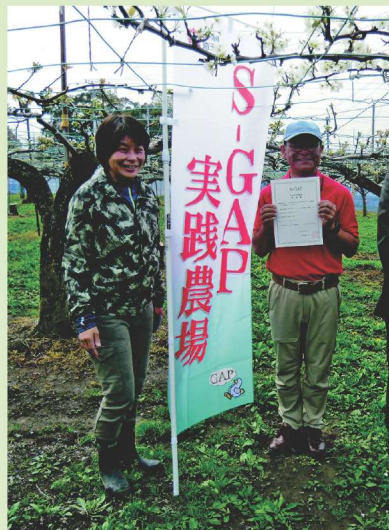
## ■S-GAP実践農場評価制度について

GAPに取り組んでいることを客観的に証明する方法として、第三者機関の審査による「GAP認証制度」があります。中でも、S-GAPは埼玉県が実施する農場評価制度で、評価は県が無料で実施します。まずは、チェックリスト (<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0908/kanri/gap-check.html>) を活用して現状を把握してみましょう。

## ■令和2年度にS-GAP実践農場となった梨生産者



▲ 吉澤果樹園の吉澤さん



▲ ぴかいちファームの鈴木さん

## S-GAP実践者の声

農薬の在庫が  
大きく減った。

危険に対する意識が  
変わった。

最初は面倒だと思  
ったが、実践してみたら、  
整理整頓のきっかけ  
になった。

【お問合せ】 地域支援担当  
☎048-737-2134





## ～県営農業農村整備事業の紹介 No.1～ ほ場整備事業「さいたま中央地区」

### ■ほ場整備事業とは

小区画又は未整備の農地（ほ場）において、畦畔撤去と整地による農地の大区画化に併せて用排水路や農道などの農業生産基盤を整備する事業です。大区画になることで大型機械の導入が可能になり、また換地（※）によって区画形状を整えるため、作業効率がアップするほか高収益作物の栽培が可能となります。

### ■さいたま中央地区の現状

本地区はさいたま市見沼区、緑区、岩槻区の境に位置しており、地区面積は135ha（主に水田）となります。昭和30年代に10a区画に整備され、その後、水路や排水機場が整備されました。しかし、近年では狭い農道や老朽化した水路による排水不良区域の発生など、農作業に苦慮しています。

### ■今年度の取り組み

令和4年度の工事着工に向けて、令和3年度は地区界測量、実施設計、換地計画原案作成を実施します。

※ 土地の所有権を入れ替えること。ほ場整備で区画や農道の形状が変化するのに併せて行う。

【お問合せ】 県営事業担当 ☎048-737-2112



▲ 赤で囲まれた部分がさいたま中央地区



▲ 地区内の未整備農道



## ～県営農業農村整備事業の紹介 No.2～ かんがい排水事業（長寿命化対策）「九尺排水機場地区」

### ■かんがい排水事業（長寿命化対策）とは

農業用排水路や揚排水機場などの農業水利施設を将来にわたり使い続けるために、施設の延命化を行う事業です。健全な状態を保つため、機能保全計画（※1）に基づき対策工事を実施します。

### ■九尺排水機場地区の現状

当地区の工事対象である九尺排水機場は、松伏町魚沼内にあり、春日部市南東部から松伏町北西部に広がる水田の湛水を軽減するために、平成3～11年度に県営事業で造成されました。造成から20年以上経過しているため、ポンプや建屋等の補修が必要となっています。

### ■今年度の取り組み

令和3年度は、排水ポンプ、電気設備、除塵機（※2）の補修工事を実施します。

※1：施設の性能や劣化について調査し、機能を維持するための補修や更新の手法・時期を取りまとめたもの。

※2：ポンプ内にゴミが入らないようにするための設備。

【お問合せ】 県営事業担当 ☎048-737-2112



▲ 九尺排水機場外観



▲ 機場内部。右から1号、2号、3号ポンプ





## 立澤淳一氏 日本農業賞埼玉県代表表彰

令和3年3月に、越谷市で施設園芸を中心に優れた経営を営む立澤淳一氏が、日本農業賞埼玉県代表として表彰されました。

立澤氏は市街化が進む地域において、消費者ニーズを捉えた独自の栽培技術を開発し、美味しいトマトの直売事業を開始しました。その後は花の生産直売へと事業を拡大し、「コンテナガーデン」やトマトの「オリジナルジュース」の販売など、新たな6次産業化への取組が高く評価されました。

※日本農業賞：NHK、JA全中、JA都道府県中央会の主催により、意欲的に経営や技術改革に取り組み、地域の発展に貢献している生産者や集団を表彰するもの。



▲前列中央が立澤淳一氏(両隣ご家族)



## スマート農業に関する研修会開催

令和3年6月8日(火)に幸手市で埼玉葛北部主穀作経営者協議会(会長：船川由孝氏)主催のスマート農業に関する研修会を開催しました。

研修会の第1部ではメーカー2社が水稻作業で利用する自動田植機、除草剤散布用ラジコンボート・ドローン、自動操舵トラクタの作業実演を行いました。



▲自動直進田植え機



▲ドローンによる農薬散布

第2部ではメーカー3社がスマート農業作業機の紹介・説明などを行い、会員との質疑応答や熱心な意見交換が行われました。

センターではスマート農業を推進するため、今後もこのような機会や取り組みを応援していきます。



## 令和4年度 埼玉県農業大学校学生募集！

### ■埼玉県農業大学校とは

埼玉県農業大学校は、農業および農業関連産業への就職を目指す人のための専修学校です。近年では非農家出身の学生も増えており、農業法人への雇用就農等進路に応じたコース別学習(自営就農、就職就農、農業関連産業)を導入しています。

### ■農業大学校に興味のある方は

日曜オープン見学会(10/3、11/7、12/19(いずれも日曜、午前は見学会、午後は個別相談会))を開催予定です。実際に大学校の施設やほ場を見たり、学生生活の様子や卒業後の進路状況について聞いたりすることができますので、興味のある方は、ぜひ御参加ください。

- \*詳しくは、募集要項を御確認ください。
- \*募集要項は、農業大学校HPまたは農林振興センターで入手できます。

【お問合せ】 いずれも農業支援部 ☎048-737-6311